観点別特色一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検討の観点 | 教科書の特色 | 教科書の具体例 |
| 教育基本法の遵守 | ・今後ますます多様化する国際社会を生き抜くため，知識のみにとどまらず，考える力や伝える力を養えるよう配慮しています。・他国の言語や文化に触れたり，自国の文化を紹介したりすることで，異文化理解を深め，自他国ともに尊重できる心を育てます。 | →5年18ページ Did you know?6年20-28ページUnit2 |
| 学習指導要領への対応①資質・能力の育成 | **＜知識及び技能の育成＞**・当該Unitで学習する語句や表現をListen and PlayやChantなどで明示しています。・演習問題やコラム(Did you know?)で異文化に触れる内容を扱い，言語的な知識と文化的な知識を共に得られるようにしています。・知識・技能の定着を促すべく，短時間での繰り返し学習に適した内容を適宜配置しています。**＜思考力・判断力・表現力等の育成＞**・Listen and Guessなどの演習では，新出語句や表現の意味，使い方を，場面や状況をもとに推測する力を養います。\\svsys001\部署移行用\編集部門(since20151007)\編集部門全員\第3編集部\第3編集部第1課\小学校英語関係\組版(アートグローブ)\9.入稿データ\5年全データ180326\Jpeg\5-072-073 REVIEW2_ページ_2.jpg・REVIEWの　　では既習の表現を，場面や状況を変えて使用できるかを問い，思考力・判断力を養います。そして，実際にコミュニケーション活動を行う中で，表現力を養えるようにしています。**＜学びに向かう力，人間性等の涵養＞**・児童の身近な題材を取り扱うことで，「知りたい」や「実際に使ってみよう」という気持ちを膨らませます。また，異文化や他教科に関連する内容を扱うことで，児童の興味・関心を刺激し，主体的な学びへと導けるようにしています。・他者を意識して発言内容を考えさせる活動を通して，思いやりの心を育み，平和的で円滑なコミュニケーションを行う能力を伸ばします。 | →5年32,33ページ →5年36,38ページ\\svsys001\部署移行用\編集部門(since20151007)\編集部門全員\第3編集部\第3編集部第1課\小学校英語関係\H32検定意見関連\教科書の修正(組版)\一次修正\5年jpg(一次修正)\5-012 Unit1.jpg→5,6年2ページ→5年30,32ページ→5年72,73ページ→5年20-28ページ「学校生活」，6年42-50ページ「夏休みの思い出」→5年72,73ページ |
| 学習指導要領への対応②主体的・対話的で深い学び | ・児童の興味・関心を引き出す内容を扱い，主体的な学習を促します。・英語の意味や使い方について，児童が推測し，自ら考え，理解できるように工夫しています。また，個々で理解したことを児童同士で共有したり，他の児童の発話を聞いて，良いところをまねしたりしながら学びを深められるよう，やりとりや発表の機会を多く設けています。 | →5年30,32ページ Listen and Guess,37ページ Activity |
| 検討の観点 | 教科書の特色 | 教科書の具体例 |
| 学習指導要領への対応③4技能5領域の育成 | 4技能5領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」）の目標達成にふさわしい活動や演習を段階的に取り入れ，主に使用・育成する領域をマークで表しています。 | →5,6年2ページ「4技能5領域を示すマーク」 |
| 基礎・基本の定着 | ・基礎的な語彙や表現は，Listen and PlayやChantなどで明示しています。これらの語彙や表現は，演習問題やコミュニケーション活動の中で繰り返し活用しながら身につけられるようにしています。・場面や状況から英語の意味を推測したり，状況や目的に応じて会話したりする活動を通して，考える力の基礎を築けるようにしています。・コミュニケーション活動を多く設け，英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする意識や態度を身につけられるようにしています。 | →5年32,33ページ→5年37ページ Activity |
| 内容・配列・分量 | ・各Unitは短く簡単な表現を聞くことから入り，Unitの終わりに向かって緩やかに話す活動へと移行していきます。6年生では各Partで聞いたり話したりした短い文を書くところまで行い，Unitの最終Activityに向かって積み上げていきます。・イラストや写真などを使って効果的に学習できる内容にしています。・5年生では主に自分の身近なことや知っていることを英語で表現する内容を多く扱い，6年生では身の回りのことをもう少し詳しく調べたり，身の回りから少し離れたことを知ったりしながら学習する内容を多く扱っています。・概ね「We Can!」に沿った配列とし，新課程に向け，児童の学習や先生の指導がスムーズに移行できるようにしました。・年間配当時数は各学年64/70時間と，余裕を持って指導できるよう配慮していますので，必要に応じて，個に応じた活動や読み物教材等を扱うことができます。・1時間で指導する内容も余裕を持って扱える分量にしています。・語彙は学習指導要領で示された700語数以上を扱い，豊かなコミュニケーション活動ができるようにしています。 | →5年30-37 ページUnit3，6年20-27ページUnit2→5年62-64ページ→5年30-37ページ Unit3 「1日の生活」，6年30-37ページUnit3 「地域の紹介」 →5,6年 表紙裏~1ページ「もくじ」 |
| コミュニケーション活動 | ・Listen and Guessでは即興的なやりとりができる素材を多く提供しています。・Activityでは，学んだ表現を使って，やりとりや発表を行います。 | →5年74, 75ページ→6年15,17ページ |
| 学びの見通しと振り返り，評価 | ・児童が見通しを持って学習を進められるよう，各Unitの目標（GOAL）を明記し，その目標に向けたスモールステップのめあてを各Partに設けました。また，巻末にはCan-Do Listも設けています。・児童が達成度を確認しながら主体的に学びを進められるよう，各Partにバロメータ（できたかな？）を設置しています。・Unitの最後には，学習した内容を振り返り，自己評価するコーナー(Looking Back)を設けました。「主体的に学習に取り組む態度」を見取る手がかりになる問いも設けています。 | →5年11,12ページ，　5,6年120ページ→5年12ページ→5年18ページ |
| 検討の観点 | 教科書の特色 | 教科書の具体例 |
| 3,4年生からの接続，中学校への接続 | **＜3,4年生からの接続＞**・5年生の最初にPre Unitを設け，外国語活動からの橋渡しとなる内容を取り上げました。・各Unitの扉では，主に既習表現を使ったやりとりができるよう配慮し，3,4年生で学習した表現を繰り返し使う機会を設けました。・外国語活動で慣れ親しんだ単語を巻末のWord Listに掲載し，振り返りながら学習できるようにしました。**＜中学校への接続＞**・5年生から6年生にかけて，徐々に文字を読んだり書いたりする機会を増やし，中学校での学習にスムーズにつながるよう配慮しています。・6年生の最後のUnitで中学校生活を題材とし，児童が小学校との違いを意識できるようにしています。 | →5年6-9ページ→5年10ページ→5,6年100ページ→5年29ページ，6年90,91ページ→6年84-91ページUnit 8 |
| カリキュラム・マネジメント | \\svsys001\部署移行用\編集部門(since20151007)\編集部門全員\第3編集部\第3編集部第1課\小学校英語関係\H32検定意見関連\教科書の修正(組版)\一次修正\5年jpg(一次修正)\5-012 Unit1.jpg・「短時間で終わる」「繰り返し学習する」「途中で終わっても差し支えない」演習や活動にはモジュールマーク　　を付け，状況に応じて柔軟に扱えるようにしています。・1時間で指導する分量に余裕をもたせているので，ワークシートやゲーム活動，他教科との関連活動など，授業の実態に応じてオプションの活動を適宜取り上げることができます。 | \\svsys001\部署移行用\編集部門(since20151007)\編集部門全員\第3編集部\第3編集部第1課\小学校英語関係\H32検定意見関連\教科書の修正(組版)\一次修正\5年jpg(一次修正)\5-012 Unit1.jpg→5,6年2ページ |
| 他教科との関連 | ＜国語＞日本語との語順やアクセントの違いを取り上げています。また，6年生のStoryでは国語で学習した物語を取り上げています。＜算数＞表やグラフを読んだり作成したりする活動を扱っています。＜理科＞おもしろい生物や植物などの写真を取り上げたり，他国での温度の表示を紹介したりしています。＜社会＞都道府県の特色や外国の祭り・習慣を扱っています。＜道徳＞異文化理解や自国の文化，他者への配慮などを学べる題材や演習問題を取り扱っています。＜総合＞調べ学習や発表活動を多く扱っています。・各教科で使用する道具の紹介もしており，他教科の学習時に語彙を使用することで定着を促すことができます。 | →5年50ページ，6年8,96-99ページ→5年23ページ→5,6年114ページ，6年60ページ→6年20,21ページ→6年28ページ→6年27ページ→5年20,21ページ |
| 道徳教育人権・福祉・異文化理解・ジェンダー配慮 | ・演習問題やDid you know?で異文化の話題を取り上げて，児童が視野を広げ，国際理解・異文化理解を深められるようにしています。・複数の人種の人々を登場させ，その話を聞くことで異文化理解を深めます。・服や持ち物の色，社会的役割に対して性別による固定概念を植え付けないよう配慮しています。・困っている人を助ける場面や，相手に配慮して会話をする場面を複数設け，思いやりの心を育めるようにしています。 | →5年36,38ページ→5年72,73,94ページ |
| 防災教育・キャリア教育など，今日的な課題の取り扱い | ・海外のピクトグラムを扱い，防災への備えについて考える機会を設けています。・将来つきたい職業について考える機会を設け，キャリア教育の一端を担えるようにしています。・オリンピック・パラリンピックの題材を通して，異文化に触れることができるようにしています。 | →6年38ページ→6年74-81ページ→5年60ページ，6年18ページ |
| 検討の観点 | 教科書の特色 | 教科書の具体例 |
| 教師支援 | ・1Unitを3Partに区切ったことや，それぞれの活動や演習をほぼ授業の流れにそって紙面に配したことで，指導しやすいようにしました。・年間配当時数に余裕を持たせ，必要事項を1年間できちんと指導しきれるようにしました。・デジタルコンテンツを充実させ，ワークシートなどの周辺教材も用意し，授業の中で適切に活かせるようにしました。 |  |
| ICTの活用 | ・インターネットを活用した調べ学習を促すコーナーを設けています。・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようにしています。 | →5年38ページ, 6年p.25ページ |
| 特別支援教育，ユニバーサルデザインへの取り組み | ・本文には「UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）」を採用し，視認性・可読性を高めました。・個人の特性に関わらず，だれにでも必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使い，「メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）」による検証を行いました。・デジタル教科書や拡大教科書を用意し，児童の様々な学習形態に対応できるよう配慮しています。 |  |
| 家庭学習・自学自習への対応 | ・めあてや学習すべき語句・表現を明示し，児童が自ら進んで学習に取り組めるようにしています。・紙面にQRコードやURLを掲載し，家庭でも音声を使って学習できるようにしています。 | →5年31ページGOAL,33ページChant→5年32,39,100ページ,6年20ページ |
| 家庭や地域との連携 | ・家での仕事の分担や，週末の家庭での過ごし方について話す機会を設けています。・町の道案内や地域の紹介などの題材を取り上げ，自分の住む地域について考える機会を設けています。 | →5年34,35ページ,6年52-59ページUnit5→5年80-81ページ, 6年30-37ページ |
| オールイングリッシュへの配慮 | ・Small TalkやTeacher’s Talkによる授業を進めやすい題材を取り上げています。・デジタル教材を使って，ネイティブによる英語の音声での指導ができるようにしています。・教師用指導書には指示文の英訳などを掲載し，ALTにも配慮しています。 |  |
| 文字・印刷・用紙・製本 | ・だれにでも識別しやすい「UDフォント」を使用しています。・行間にゆとりを持たせ，文章が読みやすいよう配慮しています。・大きな判型（AB判）を採用し，イラストや写真を効果的に掲載することで学習効率が上がるよう配慮しています。・針金を使わない堅牢な「あじろ綴じ」製本を採用して，ページを大きく開けるよう配慮しています。・書きやすく，消しやすい，軽量で丈夫な紙を採用しています。・アレルギーや環境に配慮し，植物油インキ・再生紙を使用しています。 |  |